

「地域商社あきおおた」の設立経緯及び機能について

本町の課題（設立当時）

- 人口 6,472 人（5 年間減少率 12%）、高齢者率 49.4%、生産年齢人口比率 42.9%。
人口の社会減は 10 年以上継続（平成 27 年時点）。
- 従業員 10 人以下の小規模事業者数が 9 割以上。
- 観光資源は、三段峡、恐羅漢山、井仁の棚田、温井ダム等があり、恵まれている。祇園坊柿が町の特産。広島市内からは車で 1 時間以内の距離。
⇒交流人口、関係人口を増やし、賑わいを取り戻すことが課題。
- まちの稼ぐ力の向上が急務。町と連携できる規模、広域性、多業種性を満たす事業者がない。



観光産業を含め、まちの稼ぐ力の向上のために、推進役となる「地域商社あきおおた」の役割は大きく、早期に立ち上げる必要がある。

経緯

平成 29 年度	<ul style="list-style-type: none"> ● 地域課題を解決する新たな法人を設立。 法人格は一般社団法人とし、公益事業、収益事業ともに行う。取り扱い商材は地域産品と観光とする。地域商社、地域 DMO、道の駅運営の 3 つの機能を複合的に持つ。
平成 30 年度	<ul style="list-style-type: none"> ● 4 月より活動開始、道の駅の指定管理者として、町が推進してきたヘルスツーリズム（森林セラピー）、教育旅行民泊の事務局業務を取り込む。 ● まち全体のブランディングの核になるロゴマーク、キャッチコピーを策定。 ● ホームページ、Eコマースサイトを整備。体験型観光の予約機能を持つ。 ● 道の駅「来夢とごうち」が国土交通省の重点「道の駅」に選定 
令和元年度	<ul style="list-style-type: none"> ● 地域 DMO 候補法人として登録完了。マーケティング手法の浸透及び自立的経営を目指す。
令和 3 年度	<ul style="list-style-type: none"> ● 観光庁「観光地域づくり法人（登録 DMO）」に認定。 町の観光地域づくりの司令塔を担う。 ● 顧客管理システム（CRM）を導入。 顧客ニーズや動向を把握し、顧客ごとに見合うサービスを継続的に提供することを目指す。
令和 4 年度	<ul style="list-style-type: none"> ● 地域の稼ぐ力の再生や地域の活力づくりを目的とする 13 部会を発足。

